請第３号

写

マスク着用・非着用による差別や誹謗中傷をなくす取組に関する請願

請願者　柏崎市茨目２丁目１９－４
筈井　真理佳　㊞

紹介議員　飯塚　寿之　㊞

令和４年１１月２４日
柏崎市議会議長　真貝　維義　様

マスク着用・非着用による差別や誹謗中傷をなくす取組に関する請願

マスクをしている子・外せない子・できない子、それぞれが尊重され、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを求めます。

マスク着用については、今年の夏は熱中症予防の観点で、登下校や体育授業でのマスクを外すことが推奨されてはいましたが、多くの子どもたちが習慣化したマスクを着用している状況が見られました。外しなさいと言われても外すことができず、熱中症になった事例も発生しております。また、疾病や障がいなどのためにマスクを着用していない方々に対し、偏見を持たれたり、屋外などで息苦しいためにマスクを外しているにもかかわらず、周囲から心ない言葉をかけられるなどして、登校自体を拒むようになった子どももいると聞いています。

本来マスクの着用は義務ではなく任意となっております。新潟市ではこのマスク着用・非着用による差別や誹謗中傷をなくすためのポスターが作成され、各学校から家庭に配布されたり、校内や他の公共施設に掲示されているそうです。ぜひこのような取組を参考にしていただき、それぞれが尊重され、大切にされる社会へとなるよう以下のとおり請願いたします。

記

マスク着用・非着用による差別や誹謗中傷などがあってはならないことを、ホームページや町内会回覧などで周知するとともに、分かりやすいポスターなどを作成して教育機関、また市民に啓発し、差別や誹謗中傷をなくすための取組を行うこと。

以上